



## (I) 日本の外交問題

## ■ 外交の課題

日本を取り巻く東アジア情勢は、領土・海洋を巡る緊張の高まりが、軍拡の過熱など、良好とはいえない。  
近辺の国々との国交回復や、抱えている国際問題を抑えていきましょう。

## 中国

1972 <sup>[1]</sup> ] = 戦争状態終了  
日中国交正常化  
1978 <sup>[2]</sup> ] = 関係を本格的に発展

Point①日本にとって最大の<sup>[3]</sup> ]  
Point②日本への観光客急増…全体の約[ ]%!

領土問題 <sup>[4]</sup> ]

1895 年の閣議決定で沖縄県に編入。  
1968 年の調査で近海に石油資源の  
埋蔵可能性が指摘されると  
中国・台湾が領有権を主張し始めた。

## ロシア

1956 <sup>[9]</sup> ] = 露との国交正常化  
平和条約を結んだ後、北方領土のうち歯舞と色丹を  
返還すると約束したが、平和条約はいまだ未締結。

領土問題 <sup>[10]</sup> ]

- ・第二次世界大戦後からソ連（ロシア）が占拠
- ・ <sup>[11]</sup> ] <sup>[12]</sup> ]  
<sup>[13]</sup> ] <sup>[14]</sup> ] の 4 島を指す
- ・ 日本政府としては 2 島返還 + α を  
実現させようと意気込んでいる

## 韓国

1965 <sup>[5]</sup> ] = 日韓国交正常化

Point 両国間の問題は多く、関係は冷え込み中

領土問題 <sup>[6]</sup> ]

島根県隠岐諸島北西に位置し、1905 年に領有確保。  
戦後、韓国が領有を主張し、54 年以降から警備隊が  
占拠している状態。韓国名は <sup>[7]</sup> ]  
(+ α) 国際司法裁判所に過去 3 度提訴しているが  
韓国側はそれに応じていない。

<sup>[8]</sup> ] 問題

第二次世界大戦中に、日本の植民地などから女性が  
集められ、性的被害を受けたとされる問題。  
2015 年に日本政府が 10 億円を支払い、  
元慰安婦の尊厳を回復する事業を始めることで  
合意。最終的な解決をした。

「最終的かつ不可逆的に解決」(2015 日韓外相会談)

## 北朝鮮

## \* 核開発・ミサイル発射問題

→ 解決に向け 6 カ国会議（日韓中米露・北朝鮮）が  
開催されてきたが進展は見られない。

## \* 日本人拉致問題

- ・ 1970 年代～80 年代にかけて日本人が  
拉致される事件が多発。
- ・ 北朝鮮は関与を認めているが、  
ほとんどの被害者が日本に帰国できていない。

中国や韓国に共通して言えることが

歴史認識問題が友好関係を阻害しているという点  
戦前の植民地支配から続く問題であり、政府として  
どのような対応が適切かが争点となっている。

## (Ⅱ) 日本の国際貢献

グローバル化が進む現代において、環境・難民・テロ・感染症などの地球規模の問題に対し、自国の利益だけを追求することが難しくなっている。近年では、貧困・教育・環境などに関わる「<sup>[15]</sup>」な開発目標」(<sup>[16]</sup>)への取組も求められている。★2030年までに達成すべき17の目標  
※ミレニアム開発目標(<sup>[17]</sup>)…2000年に国連で制定された目標。達成期限は2015年で大きな成果を上げた。

### ■ 日本の ODA

**ODA（政府開発援助）：** 政府による経済協力のうち、発展途上国の経済開発に寄与し、返済条件の緩やかなもの。日本では<sup>[18]</sup> ]（国際協力機構）が主に担当している。

★ODA 大綱（1992）…日本の ODA 基本理念を定め、国際社会の平和と発展に貢献する目的



#### 実施4原則

- ① 開発と環境の両立
- ② 軍事目的への使用を避ける
- ③ 援助国の軍事支出、武器の輸出入に注意を払う
- ④ 途上国の民主化促進、市場経済導入、人権の保障

#### + α 日本の ODA の特色

- ① 総額ではアメリカと並んで最高水準（1991～2000年は世界1位）  
2000年以降は予算削減により、2018年時点で第5位となっている
- ② 国際目標は対GNI比<sup>[19]</sup>であるが、日本は未達成＋先進国最低水準
- ③ 借款の比率が高く、贈与の比率が低い。  
※日本は自助努力の支援を重視しているため、贈与が少ない。  
アフリカは贈与の受け取りが多い分、日本の方針と合わない。
- ④ アジア諸国への援助が中心



#### Think これから日本の ODA はどうすべき？

日本の ODA に対しては、増額や贈与比率向上の要望がある。これについて賛成・反対それぞれの立場に立ってその根拠を考えてみよう。

- 賛成 インフラ整備により後に日本企業が進出しやすくなったり、経済力がつけば日本製品を購入できることにも繋がる  
子どもが健康に育てば、現地企業の貴重な労働力になりうる
- ×反対 資金協力ではない、新たな ODA を模索するべき(民間企業の活用、地方自治体と外国との連携)  
国内財政が厳しい中、ODA の増額は現実的ではない



## (I) 日本の外交問題

## ■ 外交の課題

日本を取り巻く東アジア情勢は、領土・海洋を巡る緊張の高まりが、軍拡の過熱など、良好とはいえない。近辺の国々との国交回復や、抱えている国際問題を抑えていきましょう。

## 中国

1972 <sup>[1]</sup> **日中共同声明** ] = 戦争状態終了

日中国交正常化

1978 <sup>[2]</sup> **日中平和友好条約** ] = 関係を本格的に発展

Point①日本にとって最大の<sup>[3]</sup> **貿易相手国** ]

Point②日本への観光客急増…全体の約**[25]**%！

**領土問題** <sup>[4]</sup> **尖閣諸島** ]

1895年の閣議決定で沖縄県に編入。

1968年の調査で近海に石油資源の

埋蔵可能性が指摘されると

中国・台湾が領有権を主張し始めた。

## ロシア

1956 <sup>[9]</sup> **日ソ共同宣言** ] = 露との国交正常化

平和条約を結んだ後、北方領土のうち歯舞と色丹を返還すると約束したが、平和条約はいまだ未締結。

**領土問題** <sup>[10]</sup> **北方領土** ]

・第二次世界大戦後からソ連（ロシア）が占拠

・<sup>[11]</sup> **択捉島** ] <sup>[12]</sup> **国後島** ]

<sup>[13]</sup> **色丹島** ] <sup>[14]</sup> **歯舞群島** ] の4島を指す

・日本政府としては2島返還 +  $\alpha$  を

実現させようと意気込んでいる

## 韓国

1965 <sup>[5]</sup> **日韓基本条約** ] = 日韓国交正常化

Point 両国間の問題は多く、関係は冷え込み中

**領土問題** <sup>[6]</sup> **竹島** ]

島根県隠岐諸島北西に位置し、1905年に領有確保。

戦後、韓国が領有を主張し、54年以降から警備隊が占拠している状態。韓国名は<sup>[7]</sup> **独島(ドクト)** ]

(+  $\alpha$ ) **国際司法裁判所** に過去3度提訴しているが

韓国側はそれに応じていない。

<sup>[8]</sup> **慰安婦** ] 問題

第二次世界大戦中に、日本の植民地などから女性が集められ、性的被害を受けたとされる問題。

2015年に日本政府が10億円を支払い、元慰安婦の尊厳を回復する事業を始めることで合意。最終的な解決をした。

「最終的かつ不可逆的に解決」(2015日韓外相会談)

## 北朝鮮

\* **核開発・ミサイル発射問題**

→ 解決に向け6カ国会議(日韓中米露・北朝鮮)が開催されてきたが進展は見られない。

\* **日本人拉致問題**

・1970年代～80年代にかけて日本人が拉致される事件が多発。

・北朝鮮は関与を認めているが、ほとんどの被害者が日本に帰国できていない。

中国や韓国に共通して言えることが

**歴史認識問題** が友好関係を阻害しているという点  
戦前の植民地支配から続く問題であり、政府としてどのような対応が適切かが争点となっている。

## (Ⅱ) 日本の国際貢献

グローバル化が進む現代において、環境・難民・テロ・感染症などの地球規模の問題に対し、自国の利益だけを追求することが難しくなっている。近年では、貧困・教育・環境などに関わる「<sup>[15]</sup> **持続可能**」な開発目標「<sup>(16)</sup> **SDGs**」への取組も求められている。★2030年までに達成すべき17の目標 ※ミレニアム開発目標「<sup>[17]</sup> **MDGs**」…2000年に国連で制定された目標。達成期限は2015年で大きな成果を上げた。

### ■ 日本の ODA

**ODA（政府開発援助）**：政府による経済協力のうち、発展途上国の経済開発に寄与し、返済条件の緩やかなもの。日本では<sup>[18]</sup> **JICA(ジャイカ)**（国際協力機構）が主に担当している。

★ODA 大綱（1992）…日本の ODA 基本理念を定め、国際社会の平和と発展に貢献する目的



#### 実施4原則

- ① 開発と環境の両立
- ② 軍事目的への使用を避ける
- ③ 援助国の軍事支出、武器の輸出入に注意を払う
- ④ 途上国の民主化促進、市場経済導入、人権の保障

#### + α 日本の ODA の特色

- ① 総額ではアメリカと並んで最高水準（1991～2000年は世界1位）  
2000年以降は予算削減により、2018年時点で第5位となっている
- ② 国際目標は対GNI比<sup>[19]</sup> **0.7%**であるが、日本は未達成 + 先進国最低水準
- ③ 借款の比率が高く、贈与の比率が低い。  
※日本は自助努力の支援を重視しているため、贈与が少ない。  
アフリカは贈与の受け取りが多い分、日本の方針と合わない。
- ④ アジア諸国への援助が中心



#### Think これから日本の ODA はどうすべき？

日本の ODA に対しては、増額や贈与比率向上の要望がある。これについて賛成・反対それぞれの立場に立ってその根拠を考えてみよう。

- 賛成 インフラ整備により後に日本企業が進出しやすくなったり、経済力がつけば日本製品を購入できることにも繋がる  
子どもが健康に育てば、現地企業の貴重な労働力になりうる
- × 反対 資金協力ではない、新たな ODA を模索するべき(民間企業の活用、地方自治体と外国との連携)  
国内財政が厳しい中、ODA の増額は現実的ではない